

スポ推よこすか

横須賀が好き!

67号



協会 HP

令和6年12月17日 発行

発行責任者 横須賀市スポーツ推進委員協議会会長 林 但

横須賀市・大和市・藤沢市交流研修会

9月14日(土)に行われた3市交流研修会に参加しました。今年度は、大和市が担当で行われました。大和スポーツセンター体育館に100名を超える方が集まり行われました。



ニュースポーツは、①タスポニーと②プレルボールの研修でした。

① タスポニー

バトミントンコートを使って(シングルコート)支柱に高さ80cmのネットを張ってボールはスポンジ専用ボール(1850円位)を使用チームはプレイヤー4人で交代2人の6人以内で行います。

プレイヤーは、ボールをワンバントで相手コートに入れます。(サービスライン)4人誰でも相手コートに返せる(テニスみたいです)ボールがやわらいので手に当たって痛くないです。



ゲームは6人で得点が入っても入らなくてもローテーションしますからみんなプレイします。

タスポニーは子供から高齢者迄手軽に楽しめると思います。

② プレルボール

ドイツで考案されたスポーツです。

コートはバトミントンコート外側のラインを使用して高さ40cmのロープで仕切りプレイヤーは4人で交代要員2人の6人でチームを組みます。ボールはソフトバレーボールが最適です。ゲームは握りこぶしでボールを打ちつける。



ボールを打ちつける時にどうしても手が開いてしまいます、それは反則になりますので必ず握りこぶしでボールを打ちつける。(なかなか難しいです)ワンバントで相手コートに入れ(サーブ)相手方は3回で相手コートに返すその時にワンバントでパスして3回目で相手コートに返す(上手い具合に相手コートに返すことができない)試合時間は7分間で得点が多いが勝ちです。

各競技3コートで3チームのみなさんが汗をかいて頑張っていました。

午後からは情報交換会でした。来年度は藤沢市です。

記事 嘉山 光男(武山)

写真 広報部 部長 新堀 邦明(富士見)

よこすかスポーツフェスタ 2024

10月14日(月・祝)に不入斗公園陸上競技場を始めとして体育館等、市内全域13会場で開催され開催され11000名を越える方が参加されました。

陸上競技場では新体カテストとして①50・100m走②走り幅跳び③ソフトボール投げまたはハンドボール投げ④6分間歩行などが行われました。



参加者は年齢層に応じた種目を実施し、その計測値を基準値別得点表に照らして自らの得点を記録します。その合計点で総合評価A～Eが確定します。

また、親子での参加も多く微笑ましいシーンも見られ、我々スタッフにとっても楽しい一日として過ごすことができました。



記事・写真 広報部 部長 新堀 邦明(富士見)

よこすか三浦ブロック研修会

10月26日(土)に今年度幹事市町の葉山町葉山小学校体育館、音楽室を使って行われました。

実技体験がインディアカとソフトバレーボール、講習会がスポーツ推進委員の資質と役割・総合型地域スポーツクラブの育成とスポーツ推進委員の役割について講義とディスカッションです。

三市一町から約50名のスポーツ推進委員と事務局、並びに県連合会平井会長が参加して行われました。

実技体験の2種目は、私はこれまで数回しか経験していませんでしたが、チームで一体となり楽しんだ競技も、慣れた頃には終わってしまい『もう少しプレーしたかったな』と思い、今度は、地域で広げて行きたいと思いました。

多くの方が新鮮、新たな気づきがあった講義とディスカッション。推進委員の選出方法や活動の現状など短い時間の中ではありましたが、一人ひとりが発言していたのが印象的でした。



また、総合型地域クラブについては、大きく実態が異なり最近設立した所と過去から取り組んでいる所。スポーツ推進委員がかかわっている所とそうでない所がありました。

今回の講義とグループディスカッションでみんなが理解を深めたことは良かったと思います。

最後に葉山町の役員の方のキビキビとしたラジオ体操には感動しました。動きに無駄がなく、手の振り方や体の伸ばし方が正確でした。

私もあの動きを見習い、次回から意識して取り組みたいと思いました。



記事 研修部 副部長 金森 由香里(追浜)
写真 会長 林 但(富士見)

第6回 CSY 杯グラウンド・ゴルフ大会

11月8日（金）横須賀リーフスタジアムで横須賀市スポーツ推進委員協議会主催、横須賀市と（一財）シティサポートよこすかが共催で大会が行われました。大会の趣旨は、市民の健康増進、体育スポーツの普及と学区内外の親睦を深めるのが目的です。



全25チームによる団体戦（6名/チーム）を午前の部・午後の部に分かれて行いました。6人/チームの2ラウンドの結果から以下の通りです。

【午前の部】優勝：湘南たけやま GG(A) (274)

2位：神明 GG (B) (298)

3位：久里浜7.8会 (308)

【午後の部】優勝：船越 (268)

2位：池上学区遊球会 (285)

3位：公郷学区 (286)



記事・写真 広報部 部長 新堀 邦明（富士見）

令和6年度 神奈川県 スポーツ推進委員研修会 in 藤沢

11月23日（土・祝）に神奈川県スポーツ推進委員連合会では、毎年勤労感謝の日に7ブロック輪番制で研修会を行っています。

趣旨は、委員の指導力等の資質向上及び各ブロックの情報交換を図り、地域スポーツにおけるスポーツ振興の発展に寄与するために、県内各市町村からスポーツ推進委員が一堂に集まり、各種生涯スポーツ種目の指導方法などの研究を行っています。



本年度は湘南ブロックが担当で、藤沢市遠藤にある秋葉台文化体育館に195名（横須賀：林・内村・居石・金森の4名）が集まり行いました。

今回の研究種目は過去にも経験があるファミリーバドミントンとワンバウンドふらばーるバレーボールでした。

講師は藤沢市スポーツ委員の方たちで指導方法を主体に体験しながらどのように進めるかを観察させていただきました。



<今回の研修会で気づいたこと>

- ・説明の仕方など事前に3回研修を行っておられスムーズであり、ポイントをつかんだ内容であった。
- ・今回事務局も多くの方が参加、三浦半島地区も多くの事務局の方が一緒になって取り組まれていた。
- ・このところ駅からバス（本数少なく）や徒歩での移動で片道2時間くらいかかる市が多い。

記事・写真 会長 林 但（富士見）

第65回 全国スポーツ推進委員研究協議会(宮崎大会)

11月14日(木)～15日(金) 宮崎市ひなた武道館他で行われました。開会式は全国のスポーツ推進委員3000人が一堂に会し開催されました。

大会テーマは「既成概念からの脱却」～宮崎とともに創る新たなスポーツの世界～でした。歓迎アトラクションは、宮崎犬マスコットキャラクター達による歓迎パフォーマンスでした。



開会式に続いて各種表彰式が行われ、スポーツ推進委員功労者179名の中に横須賀市の池田正英副会長が受賞されました。



次に「スポーツのちからと地域社会」をテーマに宮崎観光大使である千葉県出身のマラソン解説者としては有名な増田明美氏(スポーツジャーナリスト・大阪芸術大学教授)より講演がありました。お話は多岐にわたり次のようなことでした。



共生・多様性社会におけるスポーツのあり方については、障がい者・高齢者・健常者・若者・子供などでのスポーツ交流を図ったことで、お互いを理解し・慈しみ・活性化したいろいろな事例の紹介がありました。

スポーツというと一般的には競技としてのスポーツを連想しますが、その語源は、deportare「戯れる」「楽しむ」「気晴らし」「遊び」とのこと。

スポーツ競技はサッカーに限らず、地域社会の活性化が図れる可能性がある。

今後の社会ではユニバーサルスポーツ・みんないっしょがポイントになる。障がい者スポーツ選手は、失ったものは数えるな、今ある残されたものを最大限に生かし可能性にチャレンジしている。

最後に母親の介護からの教訓からの名言として、「2本の足は2人の主治医」歩くことの重要性を問われました。

次にシンポジウムでは「これまでのスポーツ、ここからのスポーツ」と題してパネルディスカッションが行われました。結果翌日の分科会のエピローグとなっていました。印象に残ったのは、スポーツの多様な楽しみ方の提案でした。観戦することもスポーツの一つということ。翌日分科会と続きました。



記事・写真 広報部 部長 新堀 邦明(富士見)

編集後記

秋の行事も無事に終わる事が出来ました。特にスポーツフェスタは昨年の2倍位の参加がありました。楽しんで頂けましたでしょうか？最近では、地球温暖化の問題もあり色々対策を考えこれからの行事を行います。身体を動かし健康な毎日を過ごし新しい年を迎えましょう。

副会長 鈴木 幸子(汐入)

ホームページ

<http://sukataishi.jp>